



子どもの試合や大会の応援には、親としても力が入るもの。チームスポーツなら、保護者同士の結束も高まります。ただし、盛り上がりすぎると、周囲が見えなくなると、ときにはトラブルの原因になってしまうことも……。

出口 汪 でぐち・ひろし

大学院生時代に予備校の教壇に立ち、独自の論理的解法を駆使した講義でたちまち人気を博し、現代文のトップ講師として30年以上にわたり、教え続ける。2002年に自らの経験の集大成として「論理エンジン」を開発。執筆した受験参考書の売り上げは累計600万部を超える。小学生向けの「出口汪の日本語論理トレーニング」シリーズ(小学館)が好評発売中。



役員のリーダーシップが必要な場面。 保護者会のあり方を示しましょう

近年、メールやSNSにおいて、コミュニケーショントラブルが増えたと聞きます。仲間内でおしゃべりするような感覚で楽しもうちはいいのですが、参加者がある程度の人数になると、その中にリーダー的な存在があらわれたり派閥ができたり……。現実さながらの人間関係が繰り広げられているようです。

もし、グループ全員が参加しているメールだとしても、それはルール違反です。というの、同じタイミングでメールを見ているわけではありませぬから、どうしても先にチェックや返信ができる人たちの意見が先行してしまうからです。まして、中心選手の保護者が先頭に立って「応援用Tシャツ」を作るとなれば、他者意識にかけているといっているに過ぎない。物事をスムーズに進めるための論理がそこには働いていません。

まっとうな「話し合い」ができる道筋をつけましょう

日本人は「同調圧力」に弱いと言われています。目立つグループが賛成しているとなると、本当はイヤだと思っただけでも「仕方がないな」と自分の意見を引込めてしまうのです。「自分の子どもが試合に出られないからひがんでいる」と思われたくないなら

おさら。ところが、時間がたつうちに、たまった不満がどこからかふき出して、なにやら不穏な空気が漂い始める……。そんな事態も珍しくありません。問題を解決するためには、役員がリーダーシップを発揮して、「話し合い」ができるように、保護者会の交通整理をすることが必要です。まずは厳然とした態度で、役員側は「グループメールで進められたTシャツ作製の話は認めていない」ことをはっきりさせます。そのうえで、グループメールの本来の目的と使用方法を再確認しましょう。

ただ、応援用Tシャツを作ること自体は悪いことではないので、あらためて実現への筋道を示すことも忘れずに。保護者会は本来、善意によって構成されている集まりなので、問題解決も懲罰的である必要はありません。参加したい人が気持ちよく参加できる「話し合い」をもつことが、最善の策だと思われま

今月のお題
書く技術4

連絡用グループメールで話が進んだサッカーチームの応援用Tシャツ作り。中心選手のママたちからの発案だったこともあり「うちの子は試合に出ないし」と一部から不満の声が上がりはじめました。

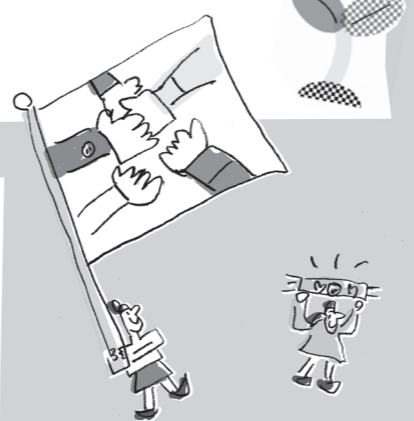
論理アタマが育つポイント

グループメールはあくまでも連絡用であることを明確に。そのうえで話し合いをする道筋を再確認・周知させましょう。

平成26年〇月〇日

FC緑ヶ丘保護者各位

FC緑ヶ丘保護者会
会長 ☆田〇子
役員一同



「連絡用グループメールの取り扱いについて」①

いつのまにか、寒風の吹く頃となりました。今年も残りわずかですが、子どもたちは変わらず元気に練習に励んでおります。

さて、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、先日来より連絡用グループメールにて、応援用Tシャツ製作についての提案が回覧されておりました。賛同される旨の返信もあるようですが、保護者会役員からの連絡ではないことをお知らせいたします。②現在、Tシャツを作る計画については何も進行していません。ご不快な思いをされた保護者の皆さんには、心よりお詫び申し上げます。③

グループメールを使用するにあたっては、
*練習や試合についての連絡にのみ使用すること
*使用の際には、役員の了解を得ること
*すべてのご家庭が参加されているわけではないこと
以上の留意事項をあらためてご確認下さい。

なお、Tシャツ製作の是非については、年度末の総会にてあらためて話し合いたいと存じます。また、今後、保護者会へのご提案がある場合は定例の総会にて、もしくは役員までお知らせ下さい。⑤

皆様のご協力により、無事に年内の日程を終えることができましたこと、厚く御礼申し上げます。試合のたびに熱い声援を送って下さることが、子どもたちにとって大きな励みになっていると存じます。

今後とも、なにとぞよろしく願い申し上げます。

なお、不明な点などありましたら、庶務〇野まで、お知らせ下さい。

